

最終処分場の整備に向けて②

●これまでの取り組みの経過

令和元年度に、新潟県は学識経験者などからなる「上越地区における広域最終処分場候補地検討委員会」を設置しました。委員会では、上越市内全域から調査対象地を抽出した後、順次選定条件を整理しながら候補地を段階的に絞り込み、令和3年3月に5カ所の候補地を選定しました。

この結果を受け、県は地元説明会、先行事例であるエコパークいずもぎきの見学会、現地調査を進め、令和4年3月に候補地を柿崎区内の2カ所に絞り込みました。現在、2カ所の候補地で地元と協議を行いながら、安心・安全で環境に配慮した施設整備のあり方や地域振興策を検討し、最終的な建設予定地の決定や合意形成に向けた取り組みを進め、令和13年度の供用開始を目指しています。



5カ所の候補地○のうち、●が絞り込まれた2カ所

●令和4年度の取り組み

4月から県は、柿崎区内に現地事務所を開設し、エコパークいずもぎきの整備運営実績を有する公益財団法人新潟県環境保全事業団と連携して地元説明などを進めており、市は県の取り組みに協力、支援を行っています。

整備に関する問合せ…新潟県環境局資源循環推進課 (☎025-280-5161)、
上越分室 (☎025-520-7859)

記事に関する問合せ…生活環境課 (☎025-520-2088)



新潟県
ホームページ



「動く総合商社」北前船と直江津のまち③

■問合せ…文化行政課 (☎025-545-9269)

かつて直江津の港は北前船の寄港地として各地からさまざまな物資が運ばれてきました。

市内には、北前船にゆかりのある文化財が今も残されており、例えば、船のバラスト（重石）として積まれていた笏谷石や御影石などが直江津や高田のまちなかで見ることができます。笏谷石は水に濡れると美しい緑色になる、福井県福井市の足羽山一帯で採掘された石です。

また、航海の安全祈願や無事を感謝して北前船船主らが奉納した、船絵馬や船模型、石灯笼や鳥居なども見ることができます。

多くの北前船でにぎわっていたかつての直江津に思いを馳せ、まちあるきを楽しんでみてはいかがでしょうか？

※船絵馬や船模型は普段非公開です。見学を希望する場合は文化行政課 (☎025-545-9269) までご相談ください。



笏谷石の地蔵(泉蔵院 西本町4)



筑波銘の狛犬と尾道石工作の鳥居(八坂神社 西本町4)



大坂、阿波国の商人が奉納した手水鉢(住吉神社 住吉町5)



尾道石工作の石灯籠(金刀比羅神社 中央3)



日本遺産北前船構成文化財マップ
(googleマップ)



日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が
紡いだ異空間(北前船寄港地・船主集落)
(市ホームページ)

